

令和2年度(2020年度)北海道農業・農村振興審議会

第4回畜産部会 委員御意見

■ 第8次北海道酪農・肉用牛生産近代化計画（案）への御意見

委員御氏名	御意見
佐藤委員	<p>以前に発言を行った「機能性表示制度等への取り組み推進」「需要創出のためのブランド化推進」「強い物流網の整備」に対し、「対応方向」として提示いただいた各事項の着実な推進を改めてお願いしたい。</p> <p>コロナの影響もあり、市場は速い速度で変化しており、需給バランスも含め出口戦略に重きを置いた推進が今後さらに重要視されると考えている。</p>
佐藤委員	<p>「全国和牛共進会の招致」を掲げているが、このようなイベントを一つの転機とし、ブランドの構築を図ることも非常に有効な手段と考えるため、招致の成功に向け頑張っていたきたい。</p> <p>大きな期待をしている。</p>
仲沢委員	<p>現在、コロナウイルスの感染拡大防止策として、収束するまで消費者は、飲食店等での外食を控える状況にあります。</p> <p>店舗等に肉などの食材納入業者には肉の供給、販売が減少となり、結果、生産者も販売できず、負の連鎖に陥ります。</p> <p>国や道の支援策を強化して、連鎖を断ち切り、安定した販売ができますことを望みます。</p> <p>(良い案と思います。)</p>

■ 北海道家畜改良増殖目標への御意見

委員御氏名	御意見
仲沢委員	<p>新聞等で鳥インフルエンザが発生し多くの鳥が殺処分されたり、養豚場で、ワクチン接種豚で豚熱が発生し、ワクチンは万能薬ではないと新聞で見ました。</p> <p>ウイルスを農場に持ち込まない徹底管理をしていても発生する現状に、生産者の方のご苦勞をお察しします。</p> <p>良い研究、対策等があったらと思います。</p> <p>(良い案と思います。)</p>